

Maruka News

2025
JAN
No.
712
マルカニュース

2025年1月6日発行
編集・発行 / 株式会社マルカ
<http://www.maruka.co.jp>
〒540-0024 大阪市中央区南新町1-2-10
TEL.06-6450-6823



巳
年



今号に掲載した皆さんの所属は、2024年12月31日現在のものです。
本誌情報の無断転載・複写を禁じます。本誌は、個人情報や社内情報を含むため、取扱いには十分注意をお願いします。

マルカニュース No.712



マルカ

飯田 社長



皆さん、明けましておめでとうございます。

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、元旦に令和6年能登半島地震が発生いたしました。復興の途上にある地域に豪雨災害も重なり、未だに厳しい状況に直面されている方々がいらっしゃいます。一日も早い復興と平穏な生活が戻ることを願ってやみません。一方で、世界情勢を見ますと、ロシア・ウクライナ間の紛争の長期化や、中東の長年続く混乱が一層深刻化しました。そのほか、中国経済の減速や日経平均株価の乱高下

など経済環境は不透明さを増し、私たちを取り巻く経営環境も決して明るいものではありませんでした。

当社においては、業績面で一部の部門・子会社が健闘したものの、全体としては前年度の実績を下回る結果となりました。連結決算においても、中期経営計画「UNISOL」の2ndステージに突入し、成長加速化を目標にさらなるシナジーの創出に邁進しましたが、

第二四半期終了時点で通期業績予想の下方修正を行い、厳しい一年となりました。経済環境は日米政権交代などの潮目を迎え、引き続き緊張感の高い状況が続くと予想されます。環境の変化を一早く捉え、柔軟性をもって迅速に対応し、継続的な成長を達成できるように共に取り組んでいきましょう。

さて、先月発表のとおり、マルカはジーネットと経営統合し、新たなステージに入ります。

2021年10月のフルサト・マルカホールディングス設立から、早4年が経過しました。グループ各社は『UNISOL』という共通ブランドのもとに互いのリソースを共有し、協力体制を築いてまいりました。しかしながら、私たちは単なるクロスセルや規模の拡大にとどまらず、独自のサービスやより高次元のソリューションを提供し続ける、唯一無二の技術商社を目指しています。その理念の実現をさらに加速させるために、この道を選びました。これは、単に両社の規模やリソースを足し合わせるだけのものではなく、業務プロセスや企業文化を真の意味で融合させることで、事業を飛躍的に成長させるための大きな転換点となります。

今年の干支は「乙巳(きのとみ)」です。

乙(きのと)は、五行では「木」の陰のエネルギーを表します。柔軟性や協調性を象徴し、周囲との調和を保ちながら自身の目標に向かって進んでいく力を表しています。植物が成長し広がっていくように、ゆっくりと着実に成長していくことを意味します。

巳(み)は、十二支の一つで、蛇を象徴します。

再生や変化を意味し、古いものを脱ぎ捨て、新しいものを生み出す力を表しています。乙巳を組み合わせると、柔軟な木が、変化のエネルギーである巳の中に根を張り、新しい芽を出していくようなイメージが浮かびます。

つまり、乙巳の年は、柔軟に他者と協力しながら、新たな挑戦と成長を求める年であると言えます、まさにこの経営統合を象徴しています。この統合は、私たちに新たな可能性と成長の機会をもたらすものです。私は「変ぜざるものの上に立ってつねに変化せよ」という言葉のように、変化を恐れずに新しいことに挑戦し続けることが重要だと考えています。一人ひとりが持つ多様な能力と経験を掛け合わせることで新たな知見を生み出し、挑戦への意欲を持つことが変革を推進するために必要なのです。皆さんの挑戦と貢献が会社の成長を支える原動力であることを決して忘れないでください。

この変革により、私たちはより一層お客様の課題解決に貢献し、社会の発展に寄与する存在へと進化します。この新たなステージにおいて皆さんが力を発揮し、共に成功を収めることを期待しています。皆さんとご家族の方々にとって素晴らしい一年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

Maruka U.S.A., Inc.

事務所移転

この度、Maruka U.S.A., Inc.は、更なる業務の効率化とコスト削減を目指し、本社事務所をミズーリ州グランドビューへ移転しました。



新本社は、旧事務所の約3倍の倉庫スペースを確保し、より多くの在庫を管理できるようになりました。これにより、CAオフィス(ロサンゼルス営業所)で担っていた射出成形機部門の部品在庫機能を本社に移すことで、在庫管理と配送の一元化が実現し、業務効率の向上を目指しております。また、これに伴いCAオフィスの規模の縮小が可能となり、大幅なコスト削減に成功しました。



社内イベント Pumpkin Contest



従業員の作業環境も大幅に改善され、従業員一人ひとりが最高のパフォーマンスを発揮できるよう快適な環境を整えました。さらに、移転後にはハロウィンに合わせて社員参加型のイベント「Pumpkin Contest」を開催し、多くの応募作品が集まり大いに盛り上がりました。このようなイベントを通じて、社員同士の連携やモチベーションの向上を図っています。

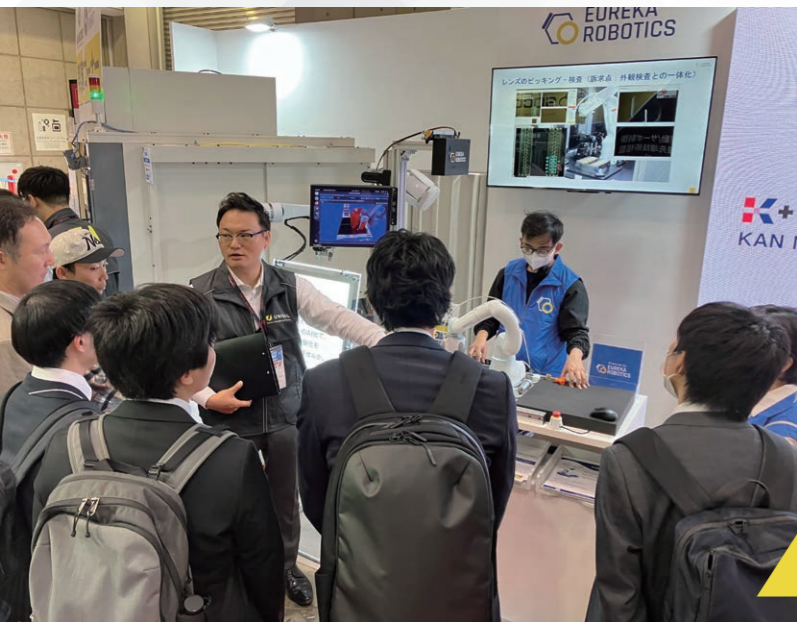
新本社でのリソースを最大限に活用し、「感動提案で今を拓き、変化の先まで伴走する。」というグループのミッションを米国で達成するため、これからもより一層邁進してまいります。

(MARUKA U.S.A INC. 中村 魁牙 記)

JIMTOFで輝く UNISOLグループ

～イノベーションと総合力の融合～

皆さん、こんにちは!今回は、私たちUNISOLグループが出展した「第32回 日本国際工作機械見本市 (JIMTOF2024)」の様子をご報告します。今年も多くの企業が最先端の技術を披露する中、グループ丸となって企画したUNISOLブースも大いに注目を集めました。



Eureka Robotics

まず、初の試みとなるEureka Roboticsのデモ機展示についてご紹介します。Eureka Roboticsはシンガポール発のロボットAI制御ソフトウェアメーカーで、小型協働ロボットによるマスターレスピッキング(ワーク事前登録無しでのピッキング)を披露しました。多くの来場者が足を止め、初めて見る技術に驚嘆の声が上がり、自動化のご相談を頂くことができました。

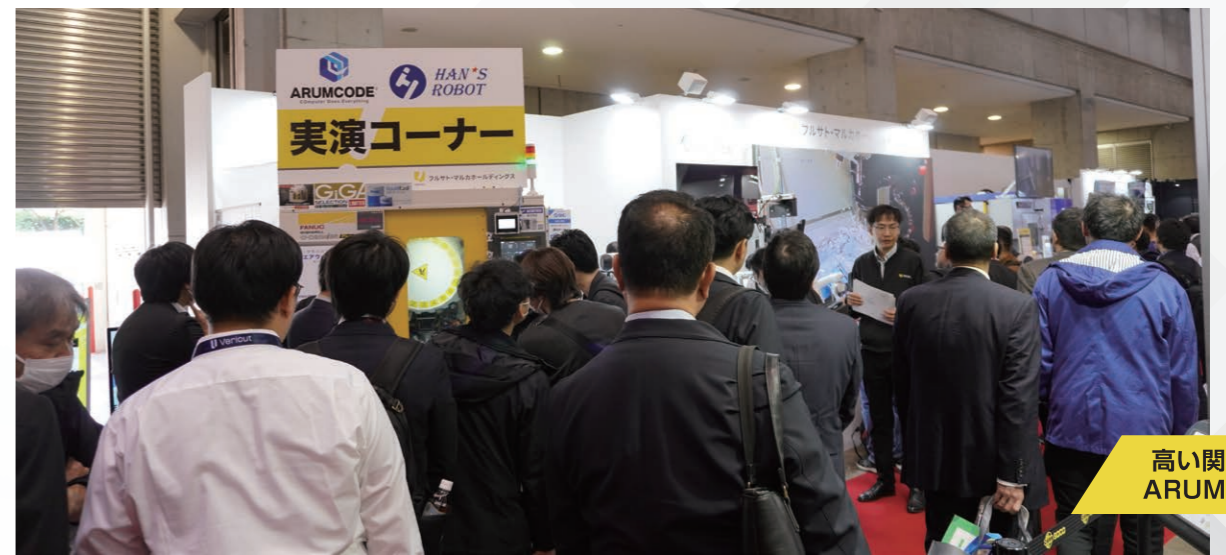
Eureka Robotics技術を来場者に熱弁するマルカ静岡支店の西岡さん



管製作所「KES335 横型NC洗浄機」

当社グループが誇る管製作所の新モデル、低圧狙い洗浄機「KES335 横型NC洗浄機」の実機デモも効果的でした。山形県天童市の名物である将棋駒を模したワークを使用し、EV部品にも応用が可能な洗浄自動化の実演を行いました。世界中から様々な機械が集まるJIMTOFにおいても、際立つユニークな技術とデモ内容で、来場者の興味を引き、管製作所の高い技術力をアピールすることができました。

EV部品に代わり巨大将棋駒を洗浄する新型低圧狙い洗浄機



高い関心を集めたARUMCODE実演

ジーネット (ARUMCODE/ギガ・セレクション)

また、ジーネットが展示したARUMCODEとギガ・セレクションも非常に好評を博しました。特にARUMCODEは知名度と実績が着実に伸びており、噂を聞いて一目見に来たというユーザーや工作機械メーカー関係者が多かった印象です。選りすぐりのソリューションを展示し、UNISOLグループの総合力を強調することができました。



プレゼンテーションの実施

初の企画として、プロのプレゼンターに協力いただき、中央ステージで実演販売風のプレゼンテーションを実施しました。プレゼンターの巧みな話術と実演により、その場の雰囲気一段と盛り上がり、多くの方々に各ブースへ足を運んでいただくことができました。

実演販売のプロである藤巻氏による庄巻のプレゼンテーション

最後に

今回のJIMTOF出展を通じて、UNISOLグループのユニークな技術力と総合力を存分にアピールすることができたことをご報告いたします。これからも、私たちは新たな挑戦と革新を続け、業界のリーダーとしての地位を確立していく所存です。引き続き、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。以上、JIMTOF出展報告でした。

次回の展示会は…

次は2025年1月22日から24日にかけて東京ビッグサイトで行われるAutomotive Worldに出展予定です。ティーエス プレシジョンのフォーミングマシン実機や、Universal RobotsとEureka Roboticsを組み合わせたロボットシステムの展示を企画中です。お取引先様にもぜひご案内ください。



▲ブース設営の風景

(グローバル本部 古里 恭祐 記)

Determination to work abroad



海外赴任の決意



マルカタイ バンコク支店 窪田 健人



Thailand

こんにちは。Maruka Machinery (Thailand) CO., Ltd. バンコク支店の窪田と申します。私はマルカに入社後、東京に配属され10年間お仕事をさせて頂きました。様々なユーザー様、メーカー様にも恵まれ産業機械等の販売をさせて頂きました。今の私があるのは皆様方のご指導ご鞭撻の賜物でございます。この場を借りて御礼申し上げます。

この度タイへ赴任になり思う事は、「夏は日本の方が暑い!物価が意外と高い!円安もあり決して裕福な環境ではない」という事です。「日本は恵まれている、優れている」というのは昔の話であり、昨今の国際情勢の中、日本人も危機感を持ち更に発展出来るようにしていく必要があると感じている次第です。現在、ロシア-ウクライナ戦争、アメリカ大統領選挙、日本の解散総選挙等、枚挙に暇がありませんが、変革の時代と思います。タイの景気も不調かつ政治も不安定ななかでの赴任となりましたが、私らしく仕事をを行い会社に貢献出来るように邁進させて頂く所存です。

また、役職がDivison Managerとなったことにより責任感が増したと感じています。日々ローカルスタッフとのコミュニケーションに苦戦しています。立場が人を大きくする、という言葉がありますが、タイ赴任を経験する事により、一回りも二回りも大きくなり人として、営業としての厚みを増していければと考えております。具体的に赴任中にしたい事は、バンコク支店の倉庫のショールーム化、人材の育成について注力出来たらと思います。

在任期間中にタイへ出張などで来られる場合はお声がけ下さい。まだ赴任したてでございますが、是非ご一緒させて下さい。

2024年度 MM会総会

2024年10月22日(火)、23日(水)
2024年度のMM会総会を開催しました。



MM会はマルカとメーカーの共存共栄を目指して1997年に発足し、当初の会員数は7社でスタートしましたが、現在では25社の企業様にご加入いただいております。毎年1回総会を開催し、会員同士の親睦を深め、情報交換や技術交流を促進するために工場見学などのイベントを実施しています。今年度は新たにUNISOLグループに加わったティーエス プレシジョン(株)の工場見学を行いました。

総会当日はあいにくの雨となりました。新岩国駅に集合し、雨に濡れた錦帯橋を眺めた後に近くのホテルで昼食を取り、工場見学に向かいました。

ティーエス プレシジョン(株)では、まず佃社長からご挨拶をいただき、次に杉本取締役から会社の概要と製品についての説明がありました。同社は、フォーミングマシンや等速ジョイント加工機を中心に、独自の技術を駆使した生産システムを製造しています。会社概要の説明の後、参加者は3つの班に分かれて、機械の製造工程を見学しました。工場内は工程ごとに整備されており、各セクションの説明に加え、生産効率向上の取り組みやカイゼン活動についてもお話がありました。また、高機能な機械が実際に動く様子を見学し、成形された部品を手に取ることで、その技術の高さを実感する

ことができました。

工場見学の後、広島に移動してMM会総会と懇親会を行いました。総会の前には、環境・省エネ推進室の新室長からマルカの環境対策についての講演がありました。講演では、カーボンニュートラルを目指す世界的な動向やUNISOLグループの取り組み、マルカの暑熱対策製品の紹介、さらにはMM会所属の松井製作所のECOBRIDの事例なども取り上げ、MM会の皆様に環境対策への取り組みが具体的かつ身近に感じられる内容でした。

今回のMM会総会は、記念すべき第30回目の開催でした。発足以来、多くの企業様にご加入いただき、個々の技術力が光る多彩な会として成長してまいりました。近年では、経営陣の若返りに伴い、出席者の年齢層が多様化しており、これまでの技術交流やビジネスチャンス創出だけでなく、経営者間の交流の場としても重要な役割を果たしつつあると感じております。今後も会員の皆様に積極的にご出席いただき、情報交換やアイデアの共有を通じて共に発展していけるよう、より有益な企画の実施に努めてまいります。

(産業機械本部 瀬戸 玉江 記)

2025年新卒者 内定式

10月1日(火)に2025年新卒者の内定式を、マルカ・フルサト工業・ジーネット・岐阜商事の4社合同で執り行いました。

内定者は4社合計39名で、マルカ10名、フルサト工業13名、ジーネット13名、岐阜商事3名です。

内定式では、フルサト・マルカHD古里社長から内定者へ、「会社とは“自己実現”の場であり、仕事を通じて、“なりたい最高の自分”を目指してほしい。また様々な価値観を尊重し、受け入れ、そして新しいアイデアを出して活躍していただきたい」という言葉とともに、最後は「残り半年間、健康に留意しつつ、有意義な学生生活を送り、様々な経験をしてください。」と締めくくられました。

内定者は緊張した面持ちではありましたが、これまで取り組んできた事や入社後の抱負など自己紹介を行いました。

内定式後には、グループ4社での交流会も開催しました。改めて自社の特徴を把握するグループワークや、内定者の人



となりを知るなど、楽しく盛り上がりながら交流できました。

その後は懇親会も実施し、食事を通してより距離感も縮まりました。

今後も、各社の垣根を超えた繋がりを形成し、グループとしての一体感醸成とともに、今後のシナジー効果の発揮を期待しています。

また内定者研修として、今年度も貿易実務検定C級にチャレンジします。

入社まで残り半年、様々なことにチャレンジをして、2025年4月の入社式に再会できることを楽しみにしております。

(人事部 坪内 明弘 記)

UNISOL

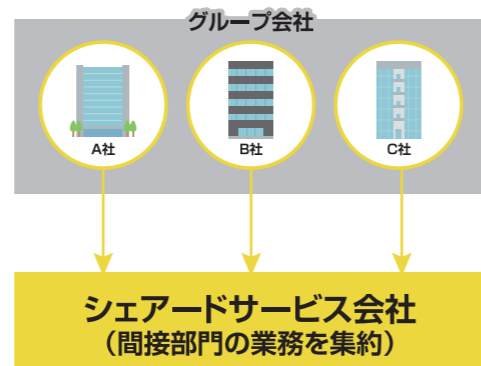
ビジネスパートナーズ株式会社を設立!!

当社、フルサト工業(株)、(株)ジーネット及びフルサト・マルカホールディングス(株)は、共同新設分割によりシェアードサービス会社である「UNISOLビジネスパートナーズ株式会社」を2025年1月6日に設立し、シェアードサービス化を進めることとなりました。

管理部門も、営業部門と同様に業務の専門化を進め、経営資源を集中することで、経営統合によるシナジーを実現し、グループ全体の競争力の強化に努めて参ります。

? シェアードサービスとは

複数の企業で構成されているグループ企業において、間接部門の業務を1か所に集約する企業改革のことを言います。



■会社概要

UNISOL ビジネスパートナーズ株式会社

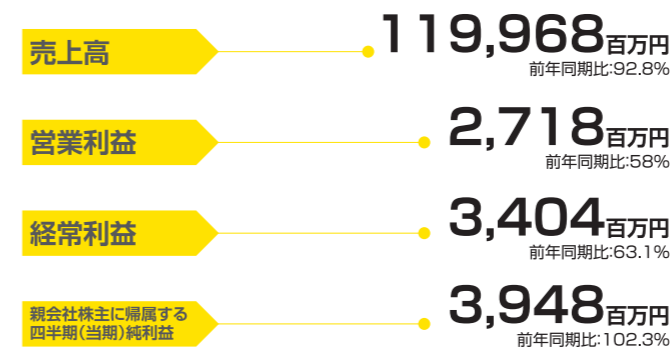
社名	UNISOLビジネスパートナーズ株式会社 (UNISOL BUSINESS PARTNERS Corporation)	
所在地	大阪府大阪府中央区南新町1丁目2番10号	
役員	代表取締役会長 代表取締役社長 取締役 監査役	飯田 邦彦 古里 龍平 藤井 武嗣 小林 秀人
事業内容	経理・財務関連業務 人事関連業務 総務関連業務 付帯する一切の業務	
資本金	5,000,000円	
決算期	12月31日	
株主	フルサト・マルカホールディングス(株) 100%	



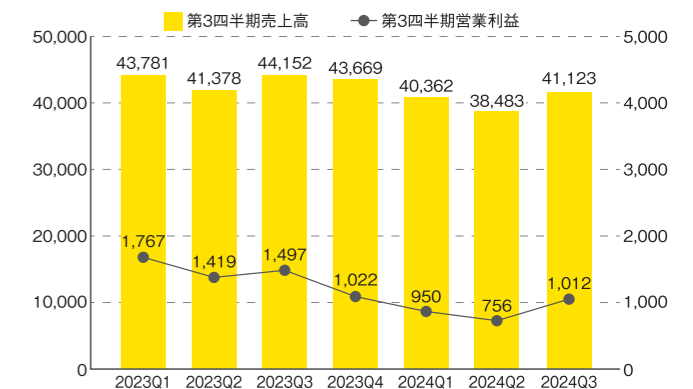
2024年12月期 第3四半期決算発表を行いました

フルサト・マルカホールディングス株式会社の第3四半期連結会計期間の経営成績は、売上高は119,968百万円(前年同期比9,343百万円、7.2%減)となりました。損益面では、減収の影響と、営業費と人件費が増加したことなどにより、営業利益は2,718百万円(前年同期比1,965百万円、42.0%減)、経常利益は3,404百万円(前年同期比1,986百万円、36.9%減)となりました。政策保有株式売却による特別利益計上等により親会社株主に帰属する四半期純利益は3,948百万円(前年同期比88百万円、2.3%増)となりました。

2024年12月期 第3四半期 連結決算サマリー



■フルサト・マルカホールディングス 通期業績推移



マルカの動き

- 10/1 : 2025年新卒者内定式
- 10/9 : 経営会議、営業会議
- 10/22、23: MM会総会
- 12/27 : 業務納式



OB会

新宿花園神社
西の市



MM会総会